

令和8年度学校自己評価システムシート (県立羽生第一高等学校)

目指す学校像	地域の期待に応えるため「自主・自律 求めて強き風に立つ」の精神のもと、積極的に課題解決に挑戦する生徒を育成する。
--------	--

重点目標	1 基礎学力に裏打ちされた学力向上の結果、高いレベルの進路実現を図る。 2 保護者と連携して、地域の模範となるような規範意識を醸成する。 3 活気に満ちた生徒の姿と特色ある教育活動を発信し、開かれた学校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<p>(現状) 生徒の進路については多岐にわたり、進路実現の達成が求められる。目標の設定と達成に向けた学力向上は必須である。校内での対策として、朝読書や新聞活用等の取組を行っており、落ち着いた環境で学校生活を送っている。全学年で導入されているタブレット端末では、授業を始めとする教育活動等で、効果的な活用が求められている。</p> <p>(課題) 生徒個人の目標の設定と進路実現に向けた、主体的な姿勢の育成が求められる。また、タブレット端末の効果的な活用方法の検証も必要であり、観点別評価の共通理解のもと、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善につなげていく。さらなるICTの推進の1つとして、「一高手帳」の電子化の検討を行う必要がある。</p>	<p>これまでの取組を踏まえ、目標や進路希望を見据えた学習活動の充実を図る。</p> <p>生徒や保護者の期待に応えられる段階的な進路指導により、進路実現を達成させる。</p>	<p>○生徒の学習に対する意識改革と、スタディサプリ等を利用し、効率的な学習活動を定着させる。 ○「一高手帳」の活用を指導し、生徒の時間管理並びに自己管理及び文章要約能力を身に付けさせ、主体的な学習時間を確保させる。 ○学びの基礎診断に基づいた生徒個人への指導を実践する。 ○教育活動におけるタブレット活用を研究し、授業改善とともにICT教育の充実を図る。</p> <p>○学年毎、段階に応じた進路指導計画を策定し、効果的な指導を検証し継続的な指導を行う。 ○将来を見据え、生徒個人に主体的な目標の設定を行なわせ、具体的な達成行動を実践させる。 ○保護者の進路に対する意識の向上と、学校との協力関係の構築を行い、連携を深める。</p>	<p>○明確な目標設定を行うことができたか。スタディサプリ等を利用し、目標達成に向けて取組を行っているか。 ○「一高手帳」の活用指導を理解し、有効に活用し、主体的な学習時間が増加したか。 ○学びの基礎診断の結果から、生徒個人の成長につながられたか。 ○校内ICT環境の十分な活用を進め、教職員のスキルアップにつなげることができたか。一高手帳の電子化について、検討できたか。</p> <p>○学年毎に進路指導を行うことができたか。 ○生徒の実態に適した進路行事の充実と個に応じた進路選択を支援できたか。(教員アンケートにより肯定的な意見が多数を占めたか。) ○的確な情報提供が行われ、進路指導への満足度が高まったか。(生徒・保護者アンケートでの満足度が7割以上とできたか。)</p>			次年度への課題と改善策
2	<p>(現状) 礼儀正しく、真面目で落ち着いた生徒が多い。一方で、主体的な課題解決に向けた行動力が弱い面がある。</p> <p>(課題) 課題解決に向けた主体的な行動力と持続力の育成が必要である。進路実現と生徒指導の一体化にむけ、保護者とも連携していく必要がある。また、外部機関との連携も課題である。</p>	<p>学校・保護者・地域がつながり、地域に根差した学校として、規範意識を持ち、品格ある生徒の育成を図る。</p>	<p>○全教職員が共通理解のもと、定期的な整容指導と挨拶指導を実施し、規範意識の醸成を図る。 ○校内外で実施される行事などに主体的に参加する意識を高めさせる。 ○PTAと連携し、交通安全指導等を行い、事故防止だけでなく、学校の取組について地域の理解も深める。</p>	<p>○整容への意識を高め、積極的な挨拶行動ができた生徒が増加したか。 ○校内外において実施される行事などに、主体的に参加又は貢献できる生徒が増加したか。 ○生徒が安全に登校することができ、事故防止に努め、保護者や地域に学校の取組を発信できたか。</p>			
3	<p>(現状) 新たな広報方法を模索しながら、広報活動に力をいれているが、生徒募集に苦戦している。</p> <p>(課題) 興味関心を持って学校広報に接してもらえる内容を発信し、効果的な生徒募集につなげていく必要がある。地域連携を推進し、学校の良さを広く周知する必要がある。</p>	<p>保護者や地域との関係を深め、開かれた学校づくりを推進することで、魅力ある教育活動を知ってもらい、生徒募集につなげていく。</p>	<p>○広報媒体を有効に活用し、適宜情報の発信を続けていく。Instagramを活用して、本校の魅力の伝わる情報を発信する。 ○地域連携や異校種交流を積極的に進め、学校理解につなげる。 ○学校説明会や個別相談を充実させ、本校の良さを伝え、志願者の確保に努める。 ○学校の特色であるNIE活動の充実を進め、取組を発信する。</p>	<p>○定期的な情報提供等を的確に行い、更新回数が増加したか。教職員・生徒で連携して情報発信できたか。 ○年度内に地域や異校種からの要望に応え、交流を推進することができたか。 ○学校説明会等の参加者アンケートで満足度が8割以上とできたか。 ○NIE活動の取組をHP等で発信できたか。</p>			

学 校 関 係 者 評 価	
実 施 日 令 和 年 月 日	
学 校 関 係 者 からの 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等	